



平成14年(2002年)

1/1

緑と活力のある ふれあいのまち小平

# 市報 こだいら



花小金井南  
地域センター児童館  
2月1日オープン

第971号 発行：小平市 編集：企画財政部広報広聴課 〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地 ☎042(341)1211(代表)

◇こだいらホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール [info@city.kodaira.tokyo.jp](mailto:info@city.kodaira.tokyo.jp) ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222



歓迎ムードに包まれる商店街



## 謹賀新年

©FC東京



東京ガス武蔵野苑

2002年、J1リーグのサッカーチームFC東京が練習グラウンドを小平市に移します



明けましておめでとうございませう。皆様お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返ってみますと、経済不況、幼児虐待、凶悪犯罪の発生などほとんど暗い話題ばかりが目につきましたが、年末には内親王殿下のご誕生され、まさに慶賀に堪えないところがございます。現在は内需不振、製造業の海外シフト、教育水準の低下などがよく言われておりますが、わが国にはまだまだ多くの優秀な人材・技術・経営資源があります。この優れた資源をどの分野に振り向けるのかを考えることが構造改革の重要なポイントなのでしょう。将来の成長分野はハイテク・情報・バイオなどの先

端技術分野、教育・研究開発などの学術の分野、一方は医療・介護・福祉・文化・環境保全・緑の保護など市民生活を質的に豊かにするための分野と言われております。国・都道府県・市町村は、協力してこれらの分野が産業として市場経済の中で活動できる条件を整備を図らなければなりません。今後における市町村の責任と役割はますます重要になるでしょう。さて、今年がわが小平市の市制40周年の節目となる年でもあり、明るい話題を

少しご紹介しましょう。コミュニティバス試行運転の検討、大沼保育園新園舎の完成、花小金井南町に児童館・地域センター、花小金井四丁目都営住宅内に児童・高齢者のための施設、鈴木町二丁目都営住宅内に公民館を開館する予定であります。また、プロサッカーチームであるJ1リーグFC東京の練習グラウンドが大沼町二丁目の東京ガス武蔵野苑に移転してくるのも街の明るい話題であります。本年も市政への一層のご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の限りないお幸せを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

### 年頭に あたって

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様には、日ごろより小平市議会に対して温かいご支援とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。昨年は、アメリカ合衆国における同時多発テロ事件を初め、世界を揺るがす大事件が次々と起こりました。これらの事件は、その後の混乱と景気後退など、全世界に大きな影響を及ぼしたと思えます。また、国内に目を向ければ、大阪教育大学附属池田小学校での痛ましい殺傷事件や、狂牛病をめぐる国内市場の混乱などがありました。経済情勢も、世界的な景気後退の流れを受け、さらに厳しい状況にあると言

われ、失業率の上昇など、「痛み」が市民生活にも実感されるものとなっております。このように、21世紀の幕開けは私たち人類にとって試練の多い、厳しいものとなった感があります。今年、小平市の市制施行40周年という節目の年です。昭和37年の市制施行当時7万余であった人口は、いまや17万人を超え、小平市は住宅都市として大きく発展してきました。この間、社会は高度情報化、国際化、高齢化など大きな変化を遂げています。小平市議会も、これらの変化に的確に対応して、市民の皆様を市政に反映し、より活性化していくべく、力を尽くして参りたいと考えています。市民の皆様のお幸せを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

わが、失業率の上昇など、「痛み」が市民生活にも実感されるものとなっております。このように、21世紀の幕開けは私たち人類にとって試練の多い、厳しいものとなった感があります。今年、小平市の市制施行40周年という節目の年です。昭和37年の市制施行当時7万余であった人口は、いまや17万人を超え、小平市は住宅都市として大きく発展してきました。この間、社会は高度情報化、国際化、高齢化など大きな変化を遂げています。小平市議会も、これらの変化に的確に対応して、市民の皆様を市政に反映し、より活性化していくべく、力を尽くして参りたいと考えています。市民の皆様のお幸せを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

わが、失業率の上昇など、「痛み」が市民生活にも実感されるものとなっております。このように、21世紀の幕開けは私たち人類にとって試練の多い、厳しいものとなった感があります。今年、小平市の市制施行40周年という節目の年です。昭和37年の市制施行当時7万余であった人口は、いまや17万人を超え、小平市は住宅都市として大きく発展してきました。この間、社会は高度情報化、国際化、高齢化など大きな変化を遂げています。小平市議会も、これらの変化に的確に対応して、市民の皆様を市政に反映し、より活性化していくべく、力を尽くして参りたいと考えています。市民の皆様のお幸せを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



小平市議会議長 高橋 三男



小平市長 前田 雅尚

